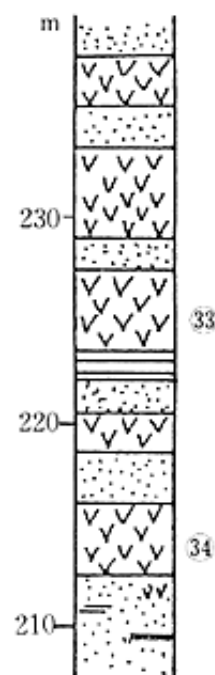


ウルシ属 *Rhus* sp.

▲脈は不規則だが湾曲している



▲複葉のものと推定される

▲発見場所
兵庫区鶴台
の柱状図

ウルシ属

葉は楕円形か長い楕円形をしており、先は細長くとがるものや三角状にとがるものがある。基部はくさび形か円形である。葉脈には2次脈・3次脈ともに走行が不規則になるのが特徴である。

白川累層より産出するが、少ない。

現生のウルシ属は温帯アジアから地中海沿岸、北アメリカなどに約250種が分布している。現生種が多く、葉の形が多様であるが、化石の葉の形も多様な形で、識別がむずかしい。

(ウルシ科 ウルシ属 *Rhus* L.)

34の写真はウルシ属でなく *Allphylus* 属である。

